

釜塚古墳(糸島市)

正面が釜塚古墳/円墳/5世紀前半の築造と云う/周濠が巡る/墳丘は低湿地に、全て人工の盛土で造られており/北側から見たところ



説明坂が立っている



国指定史跡 釜塚古墳

(昭和57年5月7日指定)

糸島市神在字釜塚

釜塚古墳は5世紀前半(古墳時代中期)に築かれた直径56m、高さ10mの北部九州最大級の円墳です。墳丘は3段に築かれ、築造当時はすり鉢を伏せたような端正な姿でした。

古墳の周囲には幅5～8mほどの周濠が巡り、平成13年度の発掘調査で墳丘と外部をつなぐ土橋(渡り土堤)が確認されました。

周濠から石見型木製品(いひみがた)(市指定文化財:写真1)と呼ばれる特殊な木製品が出土しました。石見型木製品は全長204.8cmで、古墳を邪霊から護るために墳丘に立てられた祭具とされ、国内の出土例としては最古のものです。古墳でとり行われる祭祀を知る上で重要であるとともに、石見型木製品出現の鍵を握る貴重な資料です。

糸島市を代表する貴重な文化遺産です。みんなで大切に保存しましょう。

糸島市教育委員会



5段築成になっているが、本来は2段ないしは3段であったと考えられている



釜塚古墳調査風景（平成14年2月）

左手を見たところ



右手を見たところ/周濠から出土した石見型木製品のレプリカが並ぶ



アップで見たところ



南東側から見たところ/こちら側に横穴式石室が開口している



西側から見たところ/こちら側にも説明板が立っている



国指定史跡 釜塚古墳
(昭和57年5月7日指定)

糸島市神在字釜塚

釜塚古墳は5世紀前半(古墳時代中期)に築かれた直径56m、高さ10mの北部九州最大級の円墳です。墳丘は3段に築かれ、斜面には葎石を貼ります。古墳の周囲には幅5～8mほどの列石が並び、東側では一部に外堤も築かれていました。墳丘からは円筒形、楕圓形、扇形、家形の種類豊富な埴輪が出土しています。

墳丘頂上地下には、割石を小け積みにした古式の横穴式石室(図1)があり、形坑状の墓道から短い墓道を経て石室にいたります。横穴式石室は4世紀の後半に朝鮮半島からわが国に伝えられた新しい埋葬施設で、わが国での石室構造の変遷を知る上で貴重です。(石室は保護から守るため、現在、覆われています。)石室内には造式石棺が安置されたと伝えられますが、副葬品等については不明です。

糸島地方を始めた大首長の墓のひとつと考えられ、近隣の一貴山藤子塚古墳とともに、糸島市を代表する古墳のひとつです。

糸島市を代表する貴重な文化遺産です。みんなで大切に保存しましょう。

Kamatsuka tumulus (National designated historic site)

Kamatsuka tumulus was built in the first half of the 5th century (Kofun period mid-term). It is a round tumulus, diameter 56 m, height 10 m, a maximum-scale round burial mound by Northern Kyushu. A lip most of approximately 3-8m in width terraces around a tumulus, pieces of the clay image cylindrical, mousing glory, shield, the shape of a horse has been excavated from the mound. There is the tunnel type chamber (Fig. 1) of the old fashioned in the mound top basement and I pass through a short corridor from the mine shaft-shaped grave way and reach a chamber. If backfill the cave now to protect it from collapse. When I know the change of the chamber structure in Japan, chamber of Kamatsuka tumulus is valuable, a tunnel type chamber conveyed from the Korean Peninsula in the later half of the 4th century by Japan.

It is precious cultural heritage on behalf of Itohama City. Let's save it carefully together.



釜塚古墳全体図

発掘された石室



図1 (Fig.1) 石室実測図

国指定史跡 釜塚古墳

(昭和57年5月7日指定)

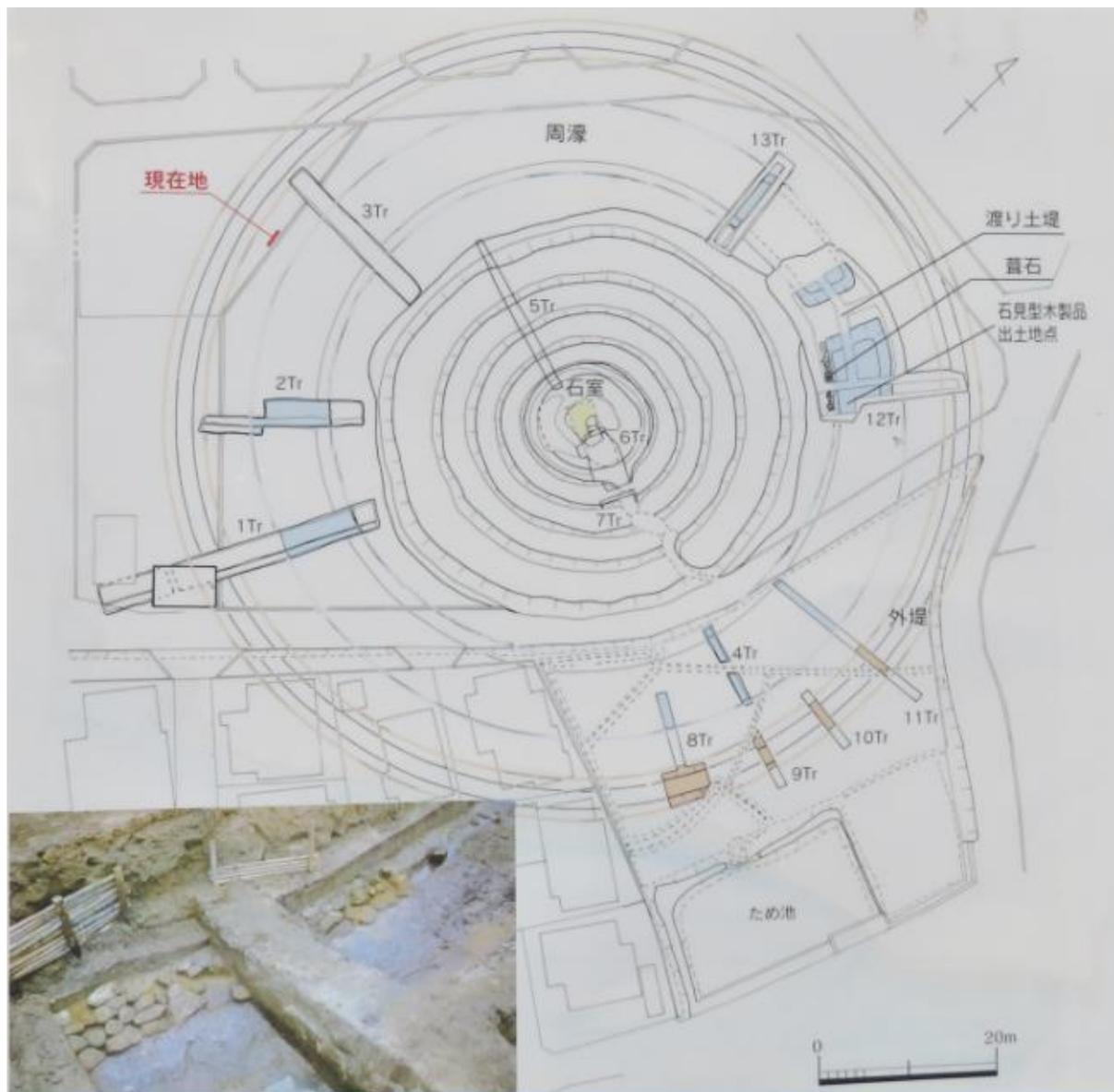
糸島市神在字釜塚

釜塚古墳は5世紀前半(古墳時代中期)に築かれた直径56m、高さ10mの北部九州最大級の円墳です。墳丘は3段に築かれ、斜面には葺石を貼ります。古墳の周囲には幅5～8mほどの周濠が巡り、東側では一部に外堤も築かれていました。墳丘からは円筒形、朝顔形、盾形、家形の埴輪の破片が出土しています。

墳丘頂上地下には、割石を小口積みにした古式の横穴式石室(図1)があり、竪坑状の墓道から短い羨道を経て石室にいたります。横穴式石室は4世紀の後半に朝鮮半島からわが国に伝えられた新しい埋葬施設で、わが国での石室構造の変遷を知る上で貴重です。(石室は崩壊から守るため、現在、埋め戻しています。)石室内には箱式石棺が安置されたと伝えられますが、副葬品等については不明です。

糸島地方を治めた大首長の墓のひとつと考えられ、近隣の一貴山銚子塚古墳とともに、糸島市を代表する古墳のひとつです。

糸島市を代表する貴重な文化遺産です。みんなで大切に保存しましょう。





釜塚古墳全体図

発掘された葺石

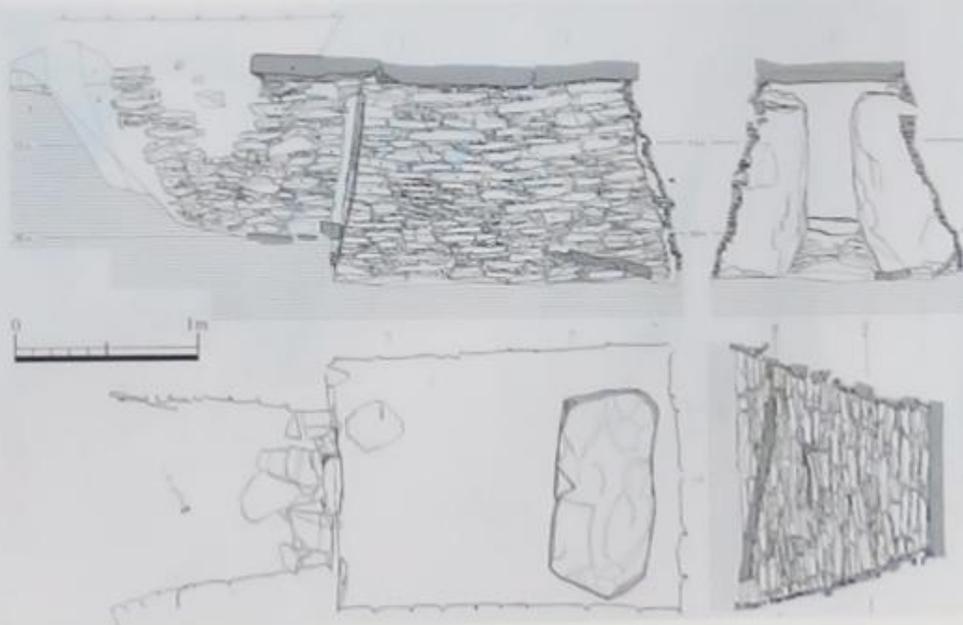


図1 (fig.1) 石室実測図

左手を見たところ



右手を見たところ



その先の東側を見たところ/こんな風に5段築成になっている



これは墳頂に登ったところ



石室に関する石なのか、あちこちに散在している



墳丘上部で築成の様子を見たところ



墳頂から東方向を見たところ



その東側から墳丘を見たところ



アップで見たところ



参考ホームページ

<http://www.city.itoshima.lg.jp/s033/010/020/010/110/080/kamatsuka-kohun.html>

<http://www.hb.pei.jp/sokuseki/fukuoka/kamatsuka-kofun/>

<https://blog.goo.ne.jp/basanw2/e/55a52259c5d9134890c06f724ded31eb>

<http://kofunmeguriwalking.web.fc2.com/kamazuka.html>

<http://blog.livedoor.jp/ncc74210/archives/52622233.html>

<http://chinchiraotsupe.blog98.fc2.com/blog-entry-1.html>

<http://obito1.web.fc2.com/itosimanisi.html>

<https://kofunoheya.blog.fc2.com/blog-entry-1681.html>

